

Q&A

個性ゆたかな野菜の花たち これ何の花？

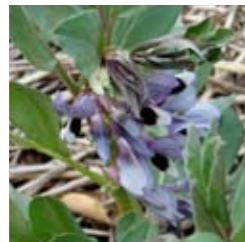
毎日の食卓に並ぶ野菜。でも野菜の花は、日々の生活で目にする機会がありませんよね。花を知ると野菜がますますいとおしく感じられます。この花にはどんな野菜が実るのかな…畑に思いを馳せてみませんか。

1



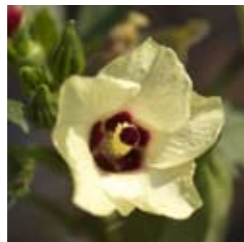
この花は葉の付け根の部分に咲き、雄と雌があります。実になる雌花が咲く頃にはがくの部分に小さい実が。受粉なしで収穫できますが、その際は種が出来ません。

2



紫色のシマ模様が粋な花。この花が咲いた後は、下から上へ実を結びます。「実が空を見上げる」ことからこの野菜の名前がついています。

3



「野菜の花の女王」と呼ばれ、ハイビスカスのような美しい花を咲かせます。一日花で、開花5〜6日で実が収穫できます。

4



花のつき方は3葉おきに規則正しく、どの節にも同じ方向に花房をつける性質です。受粉がへたなので、実を収穫するためには房の花数を減らす等して、環境を整えます。

5



うつむき加減な6弁の真っ白な花びらに、グレーのおしべのやくが何とも清楚。蕾がたくさんつくので、一つ一つの実を大きくするために摘果(※1)をします。

6



可食部はこの花托(※2)の発達したもので、表面に分布する粒がそれぞれ果実。ビタミンCが豊富で、抗酸化物質ポリフェノールの一種であるアントシアニンを含みます。

7



「親の小言と××の花は千にひとつの無駄もない」と言われるように、この野菜の花が咲けば必ず実がなると言われています。自家受粉しやすいように下を向いています。

8



一つの花に見えますが、実は小さな花の集まり。成熟した茎の先端からいくつもの白い花が伸びて、それらが集まって球状の花のかたまりとなります。

9



つぼみは下向きですが、花を咲かせると天を仰ぎます。フランス王妃マリー・アントワネットもこの花をこよなく愛し、髪飾りにしていたそうです。

一概に野菜の花といっても、各々に美しく、色とりどりで形も様々。実は、野菜の花の役割には2種類の特徴があるのです。

①〜⑦の野菜は、花が咲いて結実した実を収穫するものです。花が咲かないと野菜が収穫できないので、花の色や形は受粉のためにも重要です。一方、⑧〜⑨の野菜は、花の後の実とは関係なく茎を収穫するものです。例えばタマネギ。開花後は、芯が硬く

なり美味しくなくなります。咲かなければ野菜を収穫できない前者とは花の役割は全く異なっています。

むさしの農業ふれあい村では、これらおなじみの野菜を栽培しています。これからの季節は美しい夏野菜の花々が咲き、実をたくさんつけ、本当の色や形は受粉のためにも重要です。一方、⑧〜⑨の野菜は、花の後の実とは関係なく茎を収穫するものです。例えばタマネギ。開花後は、芯が硬く

Answer

<p>1 キュウリ</p>  <p>ウリ科 花期：6月〜7月 収穫期：8月〜10月</p>	<p>2 ソラマメ</p>  <p>マメ科 花期：3月〜4月 収穫期：5月〜6月</p>	<p>3 オクラ</p>  <p>アオイ科 花期：6月〜9月 収穫期：7月〜10月</p>
<p>4 トマト</p>  <p>ナス科 花期：5月〜9月 収穫期：7月〜10月</p>	<p>5 ピーマン</p>  <p>ナス科 花期：7月〜9月 収穫期：7月〜10月</p>	<p>6 イチゴ</p>  <p>バラ科 花期：4月〜5月 収穫期：5月〜6月</p>
<p>7 ナス</p>  <p>ナス科 花期：5月〜8月 収穫期：7月〜9月</p>	<p>8 タマネギ</p>  <p>ユリ科 花期：5月〜6月 収穫期：7月〜12月</p>	<p>9 ジャガイモ</p>  <p>ナス科 花期：5月〜7月 収穫期：8月〜6月</p>

※1 摘果：よい果実を得たり、枝を保護するために、余分な果実を摘み取ること。
※2 花托：花柄の上端にあって、花びらやめしべなどをつける部分のこと

武蔵野の農業歳時

お盆と「こいだんご」と「武蔵野うどん」

武蔵野には、かつて野菜畑だけではなく麦畑や桑畑がありました。収穫やお蚕さんの農作業の関係で、お盆の時期が半月遅れで7月の末に行われていました。



伝統の「武蔵野うどん」

が「武蔵野うどん」です。日々の農繁期には、小麦を水で溶いて団子状に丸めたものを収穫したいろいな野菜といっしょに煮込む「こいだんご汁」がよく食べられて

各農家では、奥さんたちがその年出来た小麦でうどんを打っておもてなしをするのが習わしでした。鯉節とさば節でだしを取った醤油味の汁に、肉と「かて」と言われる茹でたダイコンやコマツナが入ったこしのあるうどんです。それ

ていました。今で言うすいとんのようなものです。



井口良美
武蔵野市議会議員、
農業委員、
JA東京むさし理事、
武蔵野市農政推進協議会会長

齋藤村長が教える【菜園まめ知識】

身近で野菜作りを始めるにあたって

都会で市民が野菜を作るのは、なかなか大変です。それでも実際に自分で作ってみると農業の大変さ、自然のすごさを実感出来ます。市民農園は3×4mくらい、お庭のあるご家庭でもそんなに広くは確保できないのが現状です。そのような中での野菜作りには、ちょっとした工夫が必要です。

まず、半日は日が当たるところで、風通しの良い場所を探しましょう。一番大切なのは土です。1. 水はけと通気が良いこと。2. 水持ちがいいこと。3. 土の酸度が適正であること。必要に応じて土壌改良をしましょう。

次に狭くても輪作を考えて作付けをします。同じ場所に同じ科の野菜を続けて栽培しないようにします。共栄関係にある野菜やハーブの混作は生育を促進したり、微生物や害虫に対しての天敵を住み着きやすい環境をつくるので有効です。草丈や、野菜の形を考慮した栽培計画を立てることも重要です。

菜園の野菜作りについてはこれからシリーズでお伝えしていきます。



齋藤瑞枝
武蔵野農業ふれあい村代表、
緑化学会会員、
環境情報センター会員、武蔵野市
農業振興基本計画見直し検討委員

本通信は、会員向けに月刊で配布していた「むさしの農業ふれあい村だより」を前身として、農業の面白さや村の活動を多くの方に知っていただければと、装いも新たに創刊いたしました！
なお、「むさしの農業ふれあい村だより」(no.1～30)のバックナンバーは、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。
四季折々の武蔵野の農風景をどうぞ堪能ください！

むさしの 農業ふれあい村 通信 vol.1

通算 no.31 / 2010 夏号

企画・監修 齋藤瑞枝

編集 北地智子

デザイン 梁木明子

発行

NPO 法人武蔵野農業ふれあい村
http://www.agrifureai.com/
info@agrifureai.com

印刷・協賛

(株)文伸

協賛

サントリーフラワーズ(株)
武蔵野市緑化環境センター

© 2010 NPO 法人武蔵野農業ふれあい村

当NPO 法人は、実際行う農業耕作体験とおして、農と食の問題を考え、「自然と人の関わり」、「人と人」、「人と地域社会」をつないで次世代に伝えていく活動をしています。

「菜園で野菜づくり！」
主婦の友社 / 1180円

家庭菜園や市民農園での野菜づくりをはじめ方へのテキストブック。「むさしの農業ふれあい村」の一年も紹介されています！



「文伸」も応援しています

文伸 Design
BUN-SHIN Printing Publishing
and Digital Communication

食べてみたい、を育てよう

サントリー
本気野菜

NPO 法人むさしの農業ふれあい村の活動

今年も農業塾が始まりました

3月27日(土)、武蔵野市緑化環境センター主催で平成22年度第3期「農業体験教室」(通称:農業塾)の開校式が行われました。
今年も、昨年より20区画増の80区画に拡大し、むさしの農業ふれあい村では、企画・運営の準備万端を整え、80家族の皆様をお迎えしました。

市民農園とは違う新しい試み

市民農園は、「市が農家の土地を借り上げ、区画割りや利用者を市民公募した後、土地を貸す。肥料・道具・種は自分で用意し、自分で勉強しながら耕作する。」という仕組みです。

しかし人気が高く、抽選があるにも関わらず、畑が荒れていたり、うまくできていないところが1/3くらいあるという現状だと伺います。

その理由は、基本的な知識不足による連作障害、肥料・水・世話のやりすぎ等があげられます。肥料は不足すればあげればいいが、やりすぎた肥料は土から戻せないで、不足した分をあげればよく、土が乾いてくれば植物は自力で土中の水分を求めたくてしっかりした根を張るのです。

農業塾ではこのような基本的な知識や技術を、現役の農家の方に学びながらみんなで一緒に学べます。また、菜園仲間ができ、作った野菜の保存方法や美

味しい食べ方なども体験していきます。塾での1年間では決まった作物を作ることになりますが、卒業後はきっと新しい菜園生活が始まることでしょう。



① トマトときゅうりの支柱が立ち、畑らしくなった塾生の畑。② 先生によるわかりやすい見本作業。③ 長屋門での講義で、概要を説明。



農業塾のOB 会ができました

塾が終わっても野菜作りを通じて交流を深めるために2期生を中心に「武蔵野農園体験教室OB会」が発足しました。

4月24日に行われた総会では、「NPO 法人武蔵野農業ふれあい村」の応援団として活動していくことが確認され、4月16日(金)には、加藤正明さんを講師にお迎えして「コンテナ野菜栽培」の講習会を開催し、17名のOBの方が参加されました。

農業塾 年間スケジュール

4月/ジャガイモの植え付けと共に農業塾がスタート。初めて鍬を持ち、畝作りとマルチ張りに悪戦苦闘! トウモロコシ・枝豆の種蒔きも。

5月/果菜類の苗は中旬までに植え付け完了。ジャガイモ・枝豆・トウモロコシも芽が出揃い、間引き・芽かきの作業へ。

6月/畑はすっかり緑で覆われます。梅雨時は、病虫害が発生し易い時期なので、早めの対処が肝心。雑草との戦いの始まりです。

7月/待ちに待ったジャガイモ・枝豆・トウモロコシ・キュウリの収穫! ピーマン・ナスは秋まで採れるように整枝して夏越しの準備。

8月/トマト・ミニトマトは次々に収穫できますが、下旬にはもうそろそろ秋冬野菜の植え付けが始まります。

9月/秋冬野菜の植え付け適期は短いので、慌ただしく種蒔。マルチ張りはだいたい上達しています。ナス・ピーマンは、また元気に採れ出します。

10月/ナス・ピーマンも片付け、畑はすっかり秋冬野菜に様変わりです。秋冬野菜は背が低く一面が見渡せます。

11月/秋の収穫時期。キャベツ・ブロッコリー・ハクサイ・ニンジン・ダイコン・小カブ・葉菜類と美味しい秋を体験できます。

12月/冬野菜の保存方法として干し野菜や漬け物の実習。長ネギや、ハクサイ、ホウレンソウは年越しします。

1月/畑の整理。収穫後の土にお礼肥をして整地し、来年のために土作りも学びます。

農業塾はこちらでやっています



農業ふれあい公園
東京都武蔵野市関前 5-19

武蔵野産麦で麦刈体験から「武蔵野うどんをつくらう!」

地元農家の方から協力をいただき麦刈・脱穀体験をして、できあがった地粉で郷土料理「武蔵野うどん」作りを体験します。

時期: 6月

募集: 麦刈体験 5月下旬、うどん作り体験 9月頃

キッズ野菜クラブ

「秋野菜を育ててシチューをつくらう!」

シチューの材料になる野菜を種や苗から一緒に育てます。それを収穫し、防災用の大鍋でみんなでシチューをつくり、ご家族をお招きして、会食します。

期間: 7月～11月

対象: 小学校3年生～6年生の親子

募集: 6月



それぞれ募集時期になりましたら、ホームページおよび掲示板にてご案内いたします。
【問い合わせ】 info@agrifureai.com
080-4152-9667 (代表)
080-4152-9668 (事務局)

農業って楽しい! 農や食を考える

むさしの 農業ふれあい村 通信 vol.1



NPO 法人むさしの農業ふれあい村

季刊
夏
2010
創刊号